資料 4

# 地域ケア会議の推進について

平成26年10月22日(水) 鶴岡市健康福祉部長寿介護課 地域包括支援センター

## 地域ケア会議

地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法。

具体的には、地域包括支援センター等が主催し、

- 医療、介護等の多職種が協働して高齢者の個別課題の解決を図るとともに、介護支援 専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。
- 個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化する。
- 共有された地域課題の解決に必要な資源開発や地域づくり、さらには介護保険事業計画 への反映などの政策形成につなげる。

#### 地域包括支援センター(※)レベルでの会議 (地域ケア個別会議) ≪主な構成員≫ 事例提供 個別の 自治体職員、包括職員、ケアマネ 在宅医療 ケアマネジメント 〇地域包括支援センターが開催 ジャー、介護事業者、民生委員、 連携拠点 ○個別ケース(困難事例等)の支援内容を通じた OT、PT、ST、医師、歯科医師、 サービス (1) 高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援 薬剤師、看護師、管理栄養士、歯科 衛生士その他必要に応じて参加 担当者会議 ②地域支援ネットワークの構築 支 援 (全ての ③地域課題の把握 ※直接サービス提供に当たらない専 医師会等 ケースにつ などを行う。 門職種も参加 関係団体 いて、多職 種協働によ 地域課題の把握 医療関係 り適切なケ 専門職等 アプランを 検討) 地域づくり・資源開発 政策形成 介護保険事業計画等への位置づけなど 平成25年度地域ケア会議運営

市町村レベルの会議(地域ケア推進会議)

に係る実務者研修資料より

### 個別ケースの検討

地域課題の検討

個別課題 解決機能 ネットワーク 構築機能

地域課題 発見機能 地域づくり・ 資源開発 機能

政策 形成 機能

地域包括 ケアシステムの 実現による 地域住民の 安心・安全と QOL向上

- ■地域包括支援ネットワークの構築
- ■自立支援に資するケアマネジメント の普及と関係者の共通認識
- ■住民との情報共有
- ■課題の優先度の判断
- ■連携・協働の準備と調整

- ■潜在ニーズの顕在化
- ・サービス資源に関する課題
- ・ケア提供者の質に関する課題
- 利用者、住民等の課題等
- ■顕在ニーズ相互の関連づけ

- ■需要に見合ったサービスの基盤整備
- ■事業化、施策化
- ■介護保険事業計画等への位置づけ
- ■国・都道府県への提案

- ■自立支援に資するケアマネジメントの支援
- ■支援困難事例等に関する相談・助言
- ※自立支援に資するケアマネジメントとサービス提供 の最適な手法を蓄積
- ※参加者の資質向上と関係職種の連携促進 →サービス担当者会議の充実

- ■有効な課題解決方法の確立と普遍化
- ■関係機関の役割分担
- ■社会資源の調整
- ■新たな資源開発の検討、地域づくり

自助·互助·共助· 公助を組み合わせ た地域のケア体制 を整備

#### 個別事例ごとに開催

検討結果が個別支援に フィードバックされる

日常生活圏域ごとに開催

個別事例の課題解決を 蓄積することにより、 地域課題が明らかになり、 普遍化に役立つ

市町村レベルの検討が円滑に進む よう、圏域内の課題を整理する

#### 市町村・地域全体で開催

地域の関係者の連携を強化するとともに、 住民ニーズとケア資源の現状を共有し、 市町村レベルの対策を協議する

平成25年度地域 ケア会議運営に 係る実務者研修 資料より

# 鶴岡市の取組み

### 【経過】

H25.1.30 試行的に地域ケア会議の開催

H25.2.14 先進地視察(埼玉県和光市)

H25.6.10 地域ケア会議個別会議勉強会開催

H25.9.26

鶴岡市地域ケア会議プロジェクト会議を設置

構成: 行政関係者

地域包括支援センター管理者

H26.4.1

地域ケア会議個別会議マニュアルの作成

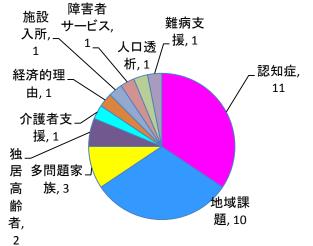
### 平成27年度

地域ケア推進会議(仮称)を設置予定

# 地域ケア会議実施状況

		H26.9.30現在
No.	地域包括支援センター名	開催回数
1	市包括	3
2	社協(本センター)	0
3	社協(なえづ)	1
4	社協(おおやま)	1
5	社協(とようら)	0
6	社協(くしびき)	0
7	社協(あつみ)	1
8	つくし	3
9	健楽園	2
10	永寿荘	0
11	しおん荘	2
12	ふじしま	14
13	かみじ荘	5
14	あさひ	0
15	総計	32

個別会議テーマ	件数	
認知症	11	34.4%
地域課題	10	31.3%
多問題家族	3	9.4%
独居高齢者	2	6.3%
介護者支援	1	3.1%
経済的理由	1	3.1%
施設入所	1	3.1%
障害者サービス	1	3.1%
人口透析	1	3.1%
難病支援	1	3.1%
総計	32	



# 表在化された地域課題

地域課題の類型	件数
認知症支援	15
独居者の支援	7
要援護者の支援体制	6
町内会の福祉体制	4
ペット	3
多問題家族	3
地域資源の把握	3
キーパーソン不在	3
若年要援護者	3
個人情報保護	2
消費者被害	2
民生委員との協働	2
でかける場	2
サービスの不足	2
その他	3
合計	60

### 【地域課題例】

- ・認知症に対する無理解(不安感)
- ・認知症高齢者を捜索する際における情報共有・体制の整備
- ・認知症の診断が医師によってまちまち
- ・ゴミだし等を自力でできない家族が増え ている
- ペットの管理ができなく、近隣に迷惑をかけている。
- ·緊急時の連絡先を引き受けてくれるご 近所の不在。
- ・もともと近隣との関わりが良くない人が、個人情報保護法が施行されたことで、さらに関わりにくくなった。

# 不足しているサービス等

不足しているサービス	件数
認知症	6
軽度生活支援	4
見守り	4
レスパイト	2
経済的課題	2
地域の支援員	2
キーパーソン	1
ペット	1
温海エリアの介護サービス	1
介護支援専門員のマネジメン	1
気軽に集まる場	1
消費者被害対策	1
障害福祉サービス	1
独居高齢者支援	1
予防対象者の把握	1
総計	29

### 【不足サービス具体例】

- ・レスパイト入院先
- ・民生委員以外のインフォーマルな見守り 支援
- ・認知症専門医による往診
- ・認知症高齢者見守りサービス
- ちょっとした手伝いの手(ゴミ出しや、声掛け)
- ・施設入所や死亡などで飼い主がいなく なったあとのペットの対応。
- ・歩いていける範囲で気軽に行ける場所
- ・訪問販売等の悪徳業者が来た場合、地域全体で住民を見守りできるシステムや 環境づくり
- ・親族が遠方の高齢者が増加。申請や通院時に対応できる方がいない。権利擁護に乗せるまでも時間がかかる。

## 地域ケア会議の課題

- 〇 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるためには、医療との連携、自助・互助・共助・公助の適切なコーディネート、サービス資源の開発など、<u>包括的なケアシステムの構築が必要であり、地域ケア会議はその実現のための重要な手段</u>として位置づけられている。
- 地域ケア会議は多職種により個別事例の検討を行うが、それを積み重ねることを通じて以下の実現が期待できる。
  - 高齢者の課題解決の支援と介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメント能力の向上
  - ・高齢者の実態把握や課題解決を図ることを可能とする<u>地域の関係機関等の相互の連携による地域包括支援</u> <u>ネットワークの構築</u>
  - ・個別の課題を解決する中で浮かび上がってくる地域の資源不足やサービス量の課題などについて、<u>地域で必要な取組を明確化し、それを政策へ反映</u>させること
- 地域包括支援センターの取組みを通じ、町内会の役員等これまでの事例検討会で入ってこなかった地域の方を含めて検討することにより、地域の人々が地域課題として受け止め、町内会の役員会で話し合ったなど、<u>地</u>域の福祉力の向上にも寄与している取り組みになっている。
- 〇 現状は、地域包括支援センターが受けた困難事例が中心になっており、今後、全介護支援専門員を対象に実施することが求められているため、負担なく効果的な取り組みの検討が必要である。
- 在宅の限界点を上げるため、表在化された課題や、不足しているサービスから互助、共助、公助の仕組みづくりにつなげるために、<u>市レベルの「地域ケア推進会議(仮称)」の設置</u>を図らなければならないが、効果的な取り組みにつなげるための、組織化が課題である。